

平成19年度 高江中校区ふれあい市民会議

答 弁 要 旨

と き 平成19年5月25日（金）14:00～16:40

ところ 峰山地区コミュニティセンター

出席者 市 : 市長

消防局長, 総務部長, 企画政策部長, 市民福祉部長, 農林水産部長,
商工観光部長, 建設部長, 教育部長, 水道局長, 危機管理監,
市政広報官, コミュニティ課長, 広報室長, コミュニティ課長代理
広報室長代理兼広聴広報グループ長, 広聴広報グループ員

市議 : 池脇重夫議員, 樗木孝治議員

地域 : 高江中校区地区各自治会長をはじめとする地区住民約30名

議題1 (峰山地区コミュニティ協議会)

柳山アグリランド事業の将来の展開とアクセス道路の整備促進について

平成20年度の柳山アグリランド事業の畜産事業への展開について、施設整備も含めて、市・県・国の支援・指導をお願いしたい。

【農林水産部長】

峰山地区コミュニティ協議会を中心に地域を挙げて取り組みをされ、感謝と敬意を表す。地域主体の取り組みが評価され新聞等にも報道されている。今後も地域の主体性を評価し、地域でやっていただきたいこと、市でできることの棲み分けをし支援したい。

現在、寺山のいこいの広場、藪牟田池の自然公園等、その利活用に取り組んでおり、これらの施設に続く同施設の整備は計画しておらず、今後も峰山地区コミュニティ協議会を中心に地域主体で取り組んでいかれることを願います。

事業内容は、いただいた計画に牧場の開設、チーズ等の製造・販売等々あるが、牛の管理・衛生面の保持、クリアすべき問題もある。

市としては公募型の補助金、単独予算の活用等を図りながら、サツマイモの栽培・地元のかくれ菓子・かからん団子等の製造・販売、地元の農産物の直売から始め、客を増やした後、次の段階にお互いに考えていければと考える。

さしあたり必要な水源の確保、トイレの整備等支援できそうなら支援したい。

また、アクセス道路の整備として、市道の高江・寄田線と瀬戸地・田平線(延長約600m)の早期整備促進、林道の田平線の登り口直線化と離合場所の確保、カーブミラーの設置促進および林道田平線の延長線上にある市道高江・寄田線(400m)区間の離合場所の確保促進、林道の田平線と寄田青山広域基幹林道の車両通行支障の樹木伐採と除草の促進をお願いしたい。

【農林水産部長】

林道田平線の登り口の直線化は、用地の確保や国県の補助事業では採択基準を充たさないため市の単独事業となり財政的な面での検討が必要である。仮に施工しても勾配が15～16%になるであろうが、バス等や離合に不便するのではないかと。

離合場所の設置及びカーブミラーの設置は、県単事業により、平成20、21年度の2ヶ年で整備できるよう要望している。(事業費見込額：20,000千円)

支障樹木伐採は、現場を見て早期に伐採していきたい。

除草についても同様だが、1年に何回も刈る状況もあり現場を見て除草する。

【建設部長】

市道高江・寄田線、瀬戸地・田平線は、年次的な整備を計画している。

今年度も予算計上しており、国のお金で整備したいと考えており、事務手続き上10月頃からの工事着手になるのではないかと。

今後も早い時期での完了が図られるよう予算確保に努めたい。

田平林道の先にある市道部分は、予算を確保し離合箇所等を整備したい。

議題2 (峰山地区コミュニティ協議会)

南九州西回り自動車道高江インター周辺の活用策とアクセス道路の整備促進について

県道43号線の宮里浄化センターから高江インター間の都市計画決定区間の測量設計の促進と、特に県道猫岳峠の歩道設置は通学路であり先行して整備、県道高江インターから久見崎町間までの測量設計促進と直線化・拡幅・歩道設置・交通の見通しの悪い仮屋橋の欄干取替えなどの整備を促進して頂きたい。

【建設部長】

県道43号線は原発関連の緊急輸送路としての機能、川内港、南九州西回り自動車道高江インターのアクセス道路としての機能等、流通の拠点として地域振興を図る観点から県に対し強く要望してきている。特に、高江インターと市街地の間は都市計画決定をしており、高江ICへのアクセス道路でありながら歩道がない、狭いなど未整備区間が

あり、地域住民の交通安全や交通緩和を図る上から早急な整備を県に要望している。

現在、宮里地区で測量調査及び用地取得、また倉浦地区では工事が進められ、県は厳しい財政状況から緊急度等を判断しながら事業の絞り込みを行っており、新たな区間は現在整備中の区間の状況を見て判断するとの考えである。

要望区間は早急な整備が必要であると十分認識しており引き続き県に対し要望する。

欄干の取替えは県は難しいとのことだが、交通安全の観点から別の交通安全策が取れないか検討したい。見えにくい場所であり運転者は十分気をつけて運転いただきたい。

猫岳の峠も暫定的に県に整備を投げかけており、条件が整えば整備できるのでは。

「食・農・住」接近の定住促進 500 戸のために高江インター周辺の農業振興地域 10ha の指定解除の促進と普通公園猫岳登山口への市道高江・圓僧線や農道、里道の整備を促進して頂きたい。

【農林水産部長】

農振農用地は、農業振興の重要な基盤とされ、本地域では 4,800ha、当高江地区で 204ha が指定されているが、計画では、農振農用地に指定されている字田中約 10ha を通過し、両サイドに約 8 ha 程度の農用地が残る。

この一括の指定解除は、基本的には農業振興の面から困難が予想されるが来年度予定している「農振整備計画」で検討し国・県と協議したい。

定住促進 500 戸は、具体的な計画が出たら、農用地除外要件を随時検討したい。

農道整備は、県単事業等による農道整備だけの事業採択は非常に厳しく、受益者負担を伴うほ場整備事業等で農道・水路等を一体的に整備する方向で検討する必要がある。通学路として利用されている危険な箇所は優先順位を考慮し対応したい。

地権者の方にご協力をお願いすることにもなるのでよろしく願います。

【建設部長】

地区内の市道は危険性及び緊急性を検討し必要な箇所から維持修繕工事を行っている。

市道高江・圓僧線も、危険性及び緊急性を判断し、今後、年次的に整備したい。県道から整備できないか考えている。

南九州西回り自動車道高江インター予定地周辺への国または県の「道の駅」「複合商業施設」等の誘致・設置に協力をお願いしたい。

【商工観光部長】

南九州西回り自動車道川内隈之城道路開通後の高江 I C 周辺の交通量を見極める必要がある。樋脇道の駅遊湯館前の交通量は 1 日あたり 9 0 0 0 台程度と聞いている。

また、道の駅等の物販施設は市外から人をひきつけるような地域の特産品の有無、採算性、他の既存類似施設との競合性等、全市的な見地から検討する必要がある。

議題 3 (峰山地区コミュニティ協議会) 八間川「水辺の楽校」の市所管整備分の整備促進について

今年 1 0 月頃予定の八間川「水辺の楽校」開校記念行事に間に合うよう、市の全ての整備が完成できるようお願いしたい。

また、八間川「水辺の楽校」両岸堤防の市道高江循環線の舗装整備をお願いしたい。

【建設部長】

平成 1 8 年度までに川内川河川事務所管轄により観覧席、階段工の整備は完了し、平成 1 9 年度から市所管の公園部の整備を行う。

本年度は排水ポンプ発電機室の移設と転落防止柵を整備する予定だが、年度内の全ての完了は厳しくお待ちいただきたい。本年度分は星空コンサート前には終わらせたい。

市道高江循環線・仮屋内場線は、舗装面が歪んでおり老朽化している箇所がある。危険性、緊急性を判断し通行に支障をきたす箇所から年次的に舗装したい。

議題 4 (峰山地区コミュニティ協議会) 消防高江分団詰所および車庫の建替えについて

団員の待機と後援会の支援の場所として快適な詰所・車庫環境の整備を行いたいので、是非平成 2 0 年度までには建替えを頂くように強く要望する。

【消防局長】

昨日発生した地元火災では、ご協力ありがとうございました。

高江分団高江部の施設は峰山地区コミに隣接した建物で、昭和 5 2 年地元消防後援会建設の木造平屋 8 9 . 6 4 m²の施設で、築 3 0 年経過した施設である。白蟻被害も発生

し、昨年はトイレのドアも壊れ改修もしたが、改築の域に達していると理解している。
また、昨年来地元後援会からも強い要望を受け、分団長から工事中の間借りの車庫の手配は大丈夫と報告を受け、次年度の実施計画への登載に向け努力したい。

【市長】

各部長の説明を聞いて、何もないと印象を受けたかもしれませんが、消防局長から来年度実施計画に載せたいと説明しましたが、来年度に詰所の改築をするとご理解いただきたい。

水辺の学校は建設部長が申し上げたとおり、道路が遅れていたと思っている。市をあげて道路の整備をしたい。これは西回り自動車道のインターチェンジの問題と関連する。今日も午前中、国の説明があり、その中での質問に答えていましたが、かなりピッチを上げてやろうという意気込みを持っておられた。従ってインターチェンジの供用開始に合わせてアクセス道路を整備していかなければならないと思っています。これを含めると、道路の悪いところも少し急いで、できるだけ20年度以降は優先的に、高江の時代になってきつつあると言われるように検討しなくてはと考えている。

農振地域の解除については部長が申し上げたとおりですが、西回り高速自動車道路のインターチェンジに合わせて、将来構想としては、川内川の橋も一つになって景観が素晴らしい周辺となり、出来るだけ快適な道路でアグリランドにいけるような構想を練っていかなければならない。この高速を通ったら寄ってみようと、そういう形に持っていかななくてはならない。柳山の方にどういう施設があればよいかということだが、そこまではもうちょっと時間がかかりますが、西回りの道路の状況を見ながら整備していく。そうすればインター周辺にはガソリンスタンドや、コンビニやマーケットなど、民間が自ずから入ると思う。

そういうことで一気に出来ないが、夢の構想を実現化するためにどうすればいいかはお互いが知恵を出し合っていかなければならない。その一番重要な項目は最初に出た柳山畜産の事業であり、乳牛を飼って乳絞りをし、バターやら作ったり乳製品を作っていこうと、素晴らしい構想ですからこの夢は捨てないでいただきたい。高千穂牧場も霧島連山の絡みだが、高速とそんなに離れていない。したがってこの柳山の構想も将来のインターチェンジと近いということを念頭に置きながらもっと現実的なことを考えてやっていかなくてはならないだろうと思います。牛を育て管理するのは行政では無理で、誰が牛を飼い、乳を搾るのか。コミュニティ協議会でやりますというが牛の管理はなかなか難しい。農協の方々が市の牧場でやっていたがうまくいかなかった。城上の牧場も難しく、失敗した例もある。牛の関係は、国・県との補助事業や事業者をどこにするのか考えなければならぬ。決してダメというわけではない。畜産事業への展開は、協議会長やら知恵を絞ってやっていかなければならない。

質 疑

議題3について循環線の道路の整備で旧児玉病院のあった60mだが、10年前から江ノ口自治会から要望しているが実施されていない。田側が崩れ狭くなっている。トラックも通り子供達も通る。車が通ると離合もできない。民家の側溝を通ると蓋が音をたて夜は特にうるさい。田側の買収が必要なら協力するのでお願いしたい。

【市長】

現場を見て帰ります。

【建設部長】

用地買収が必要であればそれだけ期間がかかるので、用地買収をしない方向で工事が出来ればと思うが、現地を見て検討したい。蓋の音については、どうにかしたい。

質 疑

市長も2年前に通った場所で、回答の通りでなくても路端の整備でいいのではないかと思う。ぜひお願いしたい。

市政としては前向きに捉えている。消防の詰所はありがとうございます。

余暇処体験ツアーに柳山アグリランドを入れて案内しようと話をしている。高江インターから下りての外回り循環の目玉にしたい。飲料水確保が一つ大きな問題で、食堂も開けない。駐車場、離合場所という面で配慮をいただきたい。

猫岳周辺の県道も見通しが悪く、狭い。大人でも恐いくらいの所なので、帰るときに車の中からご覧いただきたい。先般も県・市で現場を見ていただいたが、子供の事故が起こる前に、暫定的な整備もお願いしたい。

【市長】

水源のボーリングはいたします。来年の市計画に載せたい。あとの施設はまた考えた

議題5 (滄浪地区コミュニティ協議会)

「想夫恋」踊場の移設について

30年代の河川工事に伴い旧州の番を掘削崩壊させたため、同地で大きな松林内で踊られていた想夫恋と記念碑もろとも移設せざるを得ず、海に見えるゆかりの場所から程遠い環境となった。元の場所一元日和山周辺に記念碑を移し踊り場を設置して頂きたい。

【教育部長】

前回ふれあい会議でも提案された。その後検討した結果、踊り場の整備、記念碑の移設の場所を地元の意向を踏まえ、日和山隣接の市有地を第一候補地として、「海の見える場所」・日和山隣接地を現在選定し検討している。

整備移設にあたり、進入路・駐車場の立地・環境条件等の整地の他、踊り場の管理等課題もあり、再検討の上、総合的に判断し、地元の意向も確認し日和山隣接の市有地に移設、踊り場の整備を進めたい。

【市長】

大型ダンプかユニック車で記念碑を運ばなければならない。通行が可能と思われますので、早速やるように指示を出しました。

まだ予算を入れていないのでこれからとなります。

議題6 (滄浪地区コミュニティ協議会) バイパス道路の建設について

地区名産のいりこ加工工場の裏道を保安林を抜け加治屋の巡回市道につなげバイパスを通していただきたい。

【建設部長】

現在滄浪小校区では、滄浪小学校裏線を平成19年度までの計画で工事している。平成20年度以降は、小田地区の通称小田線を整備する予定である。

要望路線は、上浜地区の加工工場から市道久見崎循環線を結ぶ約500mの新設道路となる。

開通により、水産業者とか地区の方々にとって大変利便性の高い道路となることは承知しているが、予算状況が非常に厳しく、早急な事業化は難しいのではないかと考えている。今後、条件の良い補助事業や財源の確保について研究したい。

また、ここは松林であり保安林の指定がなされている。保安林の取り扱いについても整備するとなると出てくる問題なので研究をしていきたい。

質 疑

バイパス開通が出来ないのであれば、駐在所のところから県道を3車線にすれば、問題は解決するのではないか。

【市長】

いいヒントをいただきました。3車線への提言・要望を早速県へしていきたい。以前から県道の改良を進めつつある計画でいくと保安林を解除したり時間がかかる。3車線にして下さいと要望していく上で、用地買収には地元も協力が得られるものと言っておられ、また、県の振興局もこちらにあり早速要望をしたい。

議題7 (滄浪地区コミュニティ協議会) 原発避難訓練の『10Km圏内』の根拠について

原発避難訓練は10Km圏内に限る？との法規により、ここ十余年滄浪、寄田、港地区で参加したが、大きな事故の場合10Kmそこらの問題でなく全市的全県的な範囲も想定される場合が生じる可能性もあり、旧市内全区で交代に実施しても良いと考える。10Kmに限る根拠を示し、もしそうなら全市的に配付する補助金等をもっとこれら3地区に振り向けて発展の原動力にして欲しい。

【危機管理監】

原子力安全委員会が策定した「原子力施設等の防災対策について」(防災指針)の中で、原子力発電所の場合は、発電所を中心として概ね8kmから10kmの範囲を「防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲(E P Z)」としている。

そこで、本県・市においても地域防災計画原子力災害対策編で、発電所から10km圏内を中心に避難訓練や屋内退避訓練をしている。

しかし、広報活動は10kmに限らず市内全域を対象に実施している。

万が一、放射性物質が放出された場合でも、発電所から距離が遠くなれば避難の余裕があるということであり、発電所に近いところを繰り返し、積み重ね訓練している。

【企画政策部長】

寄田・滄浪・高江地区は「電源立地地域対策交付金」を活用し、電源立地校区振興事業として「総合計画実施計画」に登載し、近年では道路整備を重点的に実施している。

ちなみに、18年度は寄田・上野線、高江・田中3号線、19年度は高江・寄田線、久見崎・本馬場線(滄浪小学校裏線の裏線になります)、そして寄田・上野線、土川・港線この4線を実施予定です。いずれも交付金にして4千万ほどです。

立地3地区への電源交付金の配分は、今後も地元住民の意見も伺い、発展を見据えた事業、道路や側溝の整備、防災安全対策等要望の高いものを中心に優先的に対処する。

質 疑

いつも訓練に来る方は、この10年来ほとんど同じ。勤め人の方は参加されないし、最近では改善されたが、以前は弁当がひどいもので、何をしてるかわからない。出来るだけみなさんで参加するようにするか、何年かに一回は全市を挙げて避難訓練をすれば。訓練を我々はありがたいと思っており、何回も繰り返しているのでもっていつ何があっても非難できる。だが、それは一部の方で、出来るだけ全市をあげてやって欲しい。

質 疑

先日自治会の総会をしたが、原発訓練のことで出る人は限られているし可愛そうだと、この際市が金を出してくれるのなら、自治会で一人当たりで出せる（割当をしてでも出せると言う意味）。そう決まった。もし全市あげて出来ないということであれば、お金でもと検討して欲しい。

【市長】

貴重なご意見をいただいた。原発が出来て22年となるが、当初避難訓練はやっていなかった。当時、原発神話があったためだが、近年、いろんなところでトラブルが起こってから、原発の訓練はやらなければならないと変わってきた。やってから、10年くらいになりますか、まずは、地元中の地元のみなさん方の、意見を十分聞いてやっていかなければならない。おっしゃられたとおり、弁当は悪かったけれども、避難するときの車も自衛隊のトラックで、ガンガン揺れながらと、いろんなことがあったが、毎年苦言をすることによって、少しずつ改善されてきた。今回も御意見があり、国としては8kmから10kmを中心にとということなので、同じ地域の方々だけであれば毎年同じことをというご意見がでてくることもごもっともでしょうが、ちょっと御参加いただけるところを他の地域とか、交代にするとか、これは県と、いちき串木野市と、市の3者でやるので、そういう意見もあるということをおし上げ、10km圏内の湯島町とか、宮里町とか小倉町とか含めて交代でやる方法はないか、弁当の他に出会謝金でも出さないかとか、こういう意見があったということをおし上げるとも協議させる。訓練がマンネリ化してもいけないし、寝たきりの人をどうするか、出来るだけ、久見崎・滄浪の皆さん方のご協力を頂きたいと思うがもう少し範囲を広げて、発想の転換を図ってみたいと思うが、なんといっても中心で、ベテランで慣れていらっしゃる方々のご支援ご指導をいただきたいと思っている。今年は10月ごろと県が考えているようだが、10月頃は忙しい頃だと考えているところである。原発の日というのが10月26日である。その前後にしたいという構想や、明けて2月ごろでもという意見もあるようだが、これは今から時期の変更も含めて検討を県と協議することになっているのでご意見を承って今後県の話し合いで検討していきたいと思っている。

質 疑 （コミュニティ協議会長）

避難訓練は市から35～6名割当が来る。そうすると、1自治会で6～7名だが4名がぎりぎりだ。無理してやっていて要員もいない。それと訓練の想定が、原発が何の機能も全部破損したようなものすごい想定で、これだったら放射能漏れで、全員避難だ。こういうことを書かないように。それと日曜にしていなければ、小学生・中学生も参加して割当分はクリアできる。是非考慮していただきたい。

【市長】

十分ご意見を尊重して、県との協議では日曜日、あるいは想定のあり方などについても十分検討してまいりたい。協議会長から私に手紙が来て、人集めに随分心配しておられることが理解できた。協議会長も心の中に秘めておられたが、遠慮せずにどんどん言って欲しい。

【危機管理監】

昨年、86機関8600名原子力防災訓練に参加している。その前年は日曜開催だったのだが、昨年は平日にした関係で地域の住民の方々が久見崎・港・湯島・寄田で118名参加いただいた。

その前年は日曜開催で169名、その前の年が161名ということで参加されている。

地域の方々で参加されていない方もいるということで、1人でも多くの方に参加していただくよう、呼びかけていきたい。よろしく申し上げます。

議題8 （寄田地区コミュニティ協議会）

上野自治会、池ノ段両自治会に通じる道路整備について

大災害、地震など起きた場合、避難先で孤立する自治会も出てくる。孤立化を防ぐため、大型等の車が進入できる様に道路整備の必要があるので、県道から上野、池ノ段両自治会に通じる道路整備を要望する。

【建設部長】

寄田小校区では、上野自治会への連絡道路として市道寄田・上野線を整備中です。

土川・港線も平成19年度から測量設計を行い、年次的な整備を予定している。

池ノ段自治会への連絡道路である市道新田・毎床線は今まで側溝整備を実施しており、幅員を確保しているが、大型車の離合箇所等は用地の承諾など条件が整ったら部分的な拡幅で対応したい。

また、土川方面から県道の峠のところから池ノ段に昇る市道瀬戸野・池ノ段線も、離

合箇所の設置や道路脇の枝等の伐採で対応したい。

特に、池の段の集落に入るところが狭いということで確認しているのでそちらを優先して整理できればと思っている。

議題 9 (寄田地区コミュニティ協議会)
グラウンド整備について

寄田地区にあるグラウンドは、雨天後4日ぐらい水はけが悪く使用出来ない。せつかくのグラウンドが有効活用できない状態なので改善していただきたく要望する。

【建設部長】

このグラウンドは整備してから約25年経過している。

現場を見たときに、グラウンドが高低差があるということと、隣接の池があり地下水位が高いこと、グラウンドの南側と西側が高く、雨が降ったときに水が入ってくるといふことと池のほうのグラウンドが若干高くなっている、そういうことが重なって水はけが悪くなっているのでは考えている。

これについてはいろいろ対策を考えなければならないと思うが、一つの方法として暗渠排水も考えているが、いろいろ検討させていただいて対応したい。

議題 10 (寄田地区コミュニティ協議会)
コミュニティセンターへのエレベーター設置について

コミュニティセンターの大ホール2階を利用し会議などを実施するとき、階段を使用すると足が悪く登れないなど、いろいろ不都合がある。地区の高齢化をかんがみ、階段の整備とかエレベーター取り付けなどをやっていただきたい。

【企画政策部長】

市内には、寄田地区のような2階に大会議室があるコミュニティセンターが20箇所ある。地域の高齢者等の状況、会議室の利用頻度、地区の代替施設などの状況を勘案し、予算の許す範囲で施設の改善をする。

この峰山地区コミュニティセンターも今年度51畳の和室を隣に建設の予定である。

寄田地区コミュニティセンターは、代替となる施設もなく、地域防災の避難所としても指定をしており重要な施設と捉えている。

エレベーターについては、他のコミュニティセンターでも希望が出ており、藤川地

区のコミュニティセンターに約900万をかけ、外側に3人乗りのエレベーターを設置の予定である。

今後ご要望の地区については、利用状況を勘案し、優先順位を定めて改善したい。

質 疑

良い答弁を聞かせていただいた。言うだけではなく、実行していただきたい。忘れていないか心配だ。忘れないようにしていただきたい。

【市長】

高齢化率の高いところからエレベーターの関係も早めに優先順位を上の方にあげてほしいと思う。寄田はモデルでエレベーターのほうがいいと思うのでエレベーターでやる。

それから、道路の関係等、寄田も滄浪もこの峰山も大変遅れているということでここにおられる池脇議員、樗木議員が交代で発言をされる。委員会では池脇議員は熱心になって叱咤激励をされている。ちょっとこちらの方が道路の整備等で遅れているものだから、当初予算では間に合いませんでしたので、今後、しっかりとやっていきたいと思う。

グラウンドの関係も、とりあえず下に暗渠を通してみたいということなので決して忘れていませんのでよろしく願いいたします。

質 疑

昨日火災があり、消防にはお世話になった。その件だが、コミュニティセンターに火災現場がどこかという電話が多い。消防か、どちらかから火災の現場について一報いただきたい。それと、もし分署に誰もいないとき、火災でも起きたら、誰がそれを教えるか。市の有線放送もあるのでそういう有線放送でも流してもらえればと思う。

【消防局長】

昨日も一昨日もだが、消防のテレホンサービスというのがある。しかし、それも火災発生時点ではいっぱいだと言われている。そちらのほうにかけて欲しいと言いたいけれども火災発生時はいっぱいだということでご理解いただきたい。なお、消防団員には、今は試験運用中だが、6月1日からは消防団員に対しては携帯へのメール配信システムを消防隊員を中心に流している。2次的なもののサービスは火災の消防局の分とテープを回しているのもだが、そちらのほうもいっぱいだというのが現状で、5分以上たった後の分で実際消防車両が向いた方向の中では消防車両は出場の際に〇〇町付近の火災に出場中というのを放送しながら走行している。それでも足りないものについては早い時期に全市域に各世帯に受診できるもの等を予定している。私どもか

ら自治会長にお宅のところで火事ですよと入れてもその自治会長さんは多分に留守だろう。また、地区のコミュ協さんのところでも、〇〇コミュ内で火災ですよと消防局で電話を入れても留守かもしれないから、これをカバーするための広報手段については、市長と十分協議をしながら対応したい。

【市長】

実は、4万4千世帯に、今年から4ヵ年計画で各世帯に防災行政無線のデジタル化整備事業を始めることにした。4ヵ年で各世帯に、耳の不自由な方は目で見れるような、情報が映るように、また、耳で聞こえる人は耳で聞こえる、両方出来るように、各世帯に一斉に入るようなシステムを今年から導入することで予算化したところである。そうすると各世帯に火災の情報等についても必要であれば、放送、お知らせができるようになる。有線放送はここにありますが、その地域だけどこですと放送できればいいのだが、そこらへんはまた、持ち帰りまして、広報の担当・防災の危機管理監がおりますが、私も実際、消防車が市街地をウーウー走ると、どこだろうか、とそう思う。消防で入れてもなかなか繋がらないというのもあるし、団員の皆様も住民の皆様も近くなれば応援しなければということもあるでしょうから、そこらへんの広報危機管理のあり方については検討をさせてまいりたい。

【危機管理監】

今、火災については防災行政無線で放送していない。以前、土川のほうから串木野のほうは火災ということで防災行政無線で放送されて、何で川内ではしないのかという話があった。今、行方不明については警察のほうから要請がありまして防災行政無線で放送して、情報をいただいてすぐ発見とか、保護とか、いい情報をいただいている。それで、行方不明者だけは放送している。屋外放送局を今年度、基幹部を整備して、その中で、本庁から、支所から、消防局から放送ができるように今年度に整備したいと考えておりますので、そこ辺りは、今後消防局から放送してもらうか。今、市長からもありましたとおり、その後、個別受信機を全世帯に配付する中で自治会から、あるいは地区コミから放送ができるようなかたちで整備していきたいので、今後また検討していきたい。

質 疑

久見崎川は市の管轄か、県の管轄かは分からないが、土砂がたまって、川に葦が生えている。ところが、雨が降らないときは1mくらいで水が流れているが、あの土砂を何とか取り除いて欲しい。

【建設部長】

久見崎川には第一と第二があるが、第一でよろしいでしょうか。現況を見させていただいて、対応する。

【市長】

雨季に入ったから、すぐ土砂を除去するように指示します。

質 疑

一般の方が丘を開発された土地があり、去年の大雨の時、その土砂が住宅の裏に流れ込んできた。今日も雨が降ったからどうかなと思いつつここにおりますが、また去年みたいのが降ったら畑のものが家に直接入っていきますので、即見てもらって検討して欲しい。

【建設部長】

今の件だが、開発したのが原因なら開発した業者に指導して対策等させるのが筋ですから、これは調査項目に入れて指導すべきところは指導したいと思う。

【市長】

久見崎まではいけないけれども、高江は見てまいります。何件か見ていくのは決まっていますから、そこも見て帰ります。時間もあれば久見崎も見てまいります。

質 疑

これは高齢な女性からの市長へのラブレターだが、内容を読み上げると、この際市長さんと語る会があるそうですが、不自由な夫を抱えていると、参加できません。切実な願いをいたします。くるくるバスの時刻表につきまして、川内発1時の次は、午後3時56分しかありません。病院やその他の用事、市役所にも時間がかかり、1時には無理なことが多く、タクシー代3000円を奮発して利用しております。それで、午後3時の前に1便増やして欲しいです。という要望です。まだいろいろ書いていますが、地区内の方からです。

【商工観光部長】

バスの件については只今のご意見を持ち帰り、検討し、もし対応できるようであれば対応したい。

質 疑

くるくるバスを走らせていただいて感謝している。向こうからの下りが立っておられる。お年寄りの方々、病院通いの方々が、これが非常に気の毒だという声がたくさんある。高江中学校の生徒のことを考えると、夕方の便がどうしてももう一便欲しい。今、5時と6時半と少ないようだが待っている。乗り遅れたということで久見崎・寄田からお迎えに生徒さんのお父さんやおじいちゃんが迎えに来る。そういう面でなんかいい工夫はないかと思っている。宮里からの便がこれが非常に時間がかかる。これは街からの循環線じゃなくてこちらからの直接でやっていただければと要望する。

議題にも出したが、高江の自然農場の休耕田を、今、地元の企業の方が一生懸命1・2ha、水田化しようということでやっている。その関連もあるが将来的には10haといわずに多くでもやりたいというご意向だ。特に問題は植村農園の20haだ。これを私共も農業委員会の事務局長とも植村グループのほうに出かけて、この休耕田対策を何とか考えてくれというのだが、こういう不況の中でなかなか出来ないということだ。これを総合的に何とか動かす方法を市のほうからも要請いただけないか。一つは埋め立てをして、例えば大型ハウス団地を作る、というのをしたりそれからあとはある程度遊水地になっているので排水問題も出てくる。

それと先週、県にも見ていただいたが、堤防沿いの新川の浚渫をしないと、今もうこちらの住宅地の方が浸水の可能性が出てきている。これについても、県のほうにも再三毎年、市を通じても要望を出しているが、市のほうからも後押しいただけないかなと思っています。

それと県道の関係でお帰りのときに是非西日本プラントの高江道のところの猫岳の峠になっている、ここの歩道を早急に、先ほど回答がありましたが県のほうにお願いをしたいなど、我々も用地関係については、現地の方にお断りをして伐採や、とりあえず進ませてもらおうなど。

それと先の工事にかかっているが、私どもが地元要望として2年前に歩道設置をお願いした。せっかく作るのに通学路でもあるわけだが歩道がない。1日4千台通り、インターが出来れば県の予測では8千台と言っているから、ぜひ新しく歩道をつけていただきたい。こちらへんが地元要望に対して一言も無く工事が始まっていることについて先般の県の振興局に要望したところです。

【市長】

早速県とは協議をしていく。今後作業の増加は想定される。すぐ、県の振興局あるいは、県の道路建設課長が川内の出身になり、土木の次長も川内出身なので、じっくり話をしてみたいと思う。今、せっかく整備をしているのにどういう設計になっているのか。話をしてみます。

それと高江の水田の関係。休耕田をうまく活用していくという中で、植村農園の土地が遊休地になっている。私も、有効活用できないかということで、いろいろ検討させているが、新川の関係でこちらのほうが遊水地帯となっている。あそこを改革するというと、白浜のほうに水がかえってこないかという問題があるし、今度は長崎堤防のポンプの増設をしなければ開発は難しいなということで、総合的に検討させまして、水門の関係の整備を含めてポンプの能力アップとかそういうものを含めながら、植村農園のところも整備構想は作っていかなければならない。あのままではもったいない。そういうことで、植村組とも協議をしながら、国・県との関係も協議していかなければならないというふうに思っている。

それと、バスの増便の問題ですが、これは予算との関係です。結局運転手さんが一日運転をする時間。そういうのを含めると、今、この便数しか出来ないということですので、あと、市が踏ん張って、増額をすれば代替の運転手が別に走るとか、隈之城を走っているのも市民病院を回って走るのも、特に1時から3時までの間走らないです。だから、11時半か12時までの車に乗れないとなると昼から、3時ごろから後でなければ車が走らないと、非常に不便だと、一度走ってみたときはよかったと言われるが、いざもって利用されると言われると不便だといわれるので、予算の問題ですから十分バス会社とも協議してもう少し市民の皆さん方が良かったと思っただけのようにしなければならない。今、西方の関係のこっちは100円だけでも往復200円で帰ってくる。西方は480円になる。往復千円くらいかかって、うどんも食って帰ったら大変なことだと、同じ市民なのになんでか、と。この前のときは200円と100円で同じじゃなかったかと。こういうことで言われておりますのでこれも検討に入ってますから、あわせましてもう少し利用しやすいように、そのことも含めて協議をさせてまいりたいと思っております。